

大学名 信州大学（農学部）

第63号 特集テーマ「学生支援」
特集タイトル「みんなで支えるキャンパスライフ」

表題 寮と大学が一丸となつての新型コロナ対策

取り組みの様子

信州大学伊那キャンパスには、自治寮の中原寮（ちゅうげんりょう）があります。中原寮は、講義棟から5分程歩いた木々に囲まれた自然豊かな環境にあり学部生から博士学生まで64名（男子45名、女子19名）が生活しています。自治寮のため、寮生が会議で話し合いながら自主的に運営を行っています。

寮内でコロナが発生した場合は集団感染の可能性等多大な影響があります。令和2年よりコロナ禍となり、中原寮と大学が一丸となり感染防止の取組や感染者や感染疑い者が発生した際の対応について話し合いを重ねてきました。

当初は、まだ新型コロナに対する知識が不十分だったため、大学で作成した「寮での感染防止対策」の動画教材を全寮生が視聴し、新型コロナに対する基礎教育を行いました。

その後、総合健康安全センター長が寮の巡視を行い、感染防止が不十分な点を医師である専門家から指摘してもらい対策の見直しを行いました。



中原寮生



中原寮 外観

令和3年6月16日(水)
第145期総務部

新型コロナウイルス感染症対応マニュアル（改訂版 7）

〇はじめに
新型コロナウイルス感染症は現在も世界中で蔓延しており、中原寮でも当該感染症に対して速やかに対応できるようなマニュアルを作成した。
本マニュアルは、令和3年2月3日(水)発行の「新型コロナウイルス感染症対応マニュアル（改訂版 6）」の文章の不備を修正・追加したものである。具体的には、「寮運営を停止している期間中の対応について」の項目を追加、「連絡先一覧」の項目を変更した。

〇外泊者名簿への記入
以下のいずれかの項目に該当する寮生は玄関にある外泊者名簿への記入を行ってほしい。
・県外への移動を行った
・県内外問わず、寮外で宿泊をした

なお、寮生には緊急事態宣言が発令されている、もしくは長野県が公表している直近1週間の人口10万人当たりの新規陽性者数が15.0人を上回っている地域には就活や研究など、やむを得ない理由を除いて移動することを控えてほしい。

寮生も早々に自主的にコロナ対応のマニュアルを、保健所、総合健康安全センター、保健室に助言をもらいながら作成しました。その後もコロナの状況に応じて随時マニュアルの改定を繰り返しています。

ゴールデンウィークや夏休み等、大学が長期休み入る前は、寮生代表者、保健室、学務の担当職員で集り、感染予防や体調不良者が出た際の対応等を毎回確認しています。農学部でも近年使用していなかった戸建ての職員宿舎を待機場所として整備し、寮内で体調不良者や感染者が出た際に寮生自ら速やかに移動ができるように対応をしました。寮でも換気の実施、食堂の座席の対面配置禁止、マスク着用、手洗い消毒の実施等基本的な対応を継続的に行っており、今後も寮と大学で連携を取り合い、長期化するコロナ禍に対応をしていきます。

参考URL 信州大学学生寮（中原寮）

https://www.shinshu-u.ac.jp/campus_life/studentsupport/life/dormitory.html#parentHorizontalTab7

寮生が作成した新型コロナウイルス感染症
対応マニュアル（一部抜粋）